

8 福薬業発第 2 2 5 号
令和 8 年 8 月 2 0 日

各地区薬剤師会会長 殿

公益社団法人福岡県薬剤師会
常務理事 窪田 敏夫

日本臨床腫瘍薬学会「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への
ご協力をお願いについて（周知依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記につきまして、日本薬剤師会より別添のとおり通知が届きましたのでお知らせいたします。

標記調査は、日本臨床腫瘍薬学会において、専門医療機関連携薬局を対象に取組みの状況などを毎年定点で調査するものとなっております。

つきましては、貴会会員薬局の中で標記該当の薬局がございましたら、アンケート調査にご協力いただきますようご周知お願い申し上げます。

記

■Google フォーム URL: <https://x.gd/mt086>
(既に該当薬局には送付済み)

■回答期限：令和 8 年 9 月 1 5 日（火）

以 上

日薬業発第 221 号

令和 8 年 8 月 18 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日本薬剤師会

副会長 荻野 構一

日本臨床腫瘍薬学会「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への
ご協力をお願いについて（周知依頼）

平素より、本学会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本臨床腫瘍薬学会より、「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」の実施について連絡がありました。

同調査については、日本臨床腫瘍薬学会において、専門医療機関連携薬局を対象に取組みの状況などを毎年定点で調査するものとなります。

つきましては、本調査について、専門医療機関連携薬局の会員をはじめとする貴会関係者にご周知くださいますようお願い申し上げます。

令和 8 年 8 月吉日

公益社団法人 日本薬剤師会
会長 岩月 進 殿



一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会
理事長 松井 礼子

「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会(以下「JASPO」)への活動等にご理解、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さてご存じのとおり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の改正に伴い、令和 3 年 8 月より専門医療機関連携薬局の認定制度が施行されました。JASPO では、本認定制度に対応すべく、外来がん治療専門薬剤師 (BPACC) の認定制度を創設するとともに、主として薬局薬剤師を対象にがん診療病院連携研修(病院実地研修)を令和 3 年度より導入しています。令和 7 年 4 月末日時点において、薬局薬剤師の BPACC 取得者は 377 名、がん診療病院連携研修の修了者は令和 7 年 8 月末までに 582 名を輩出しており、専門医療機関連携薬局の認定薬局拡大に向け、事業を推進して参りました。さらに令和 4 年度より、専門医療機関連携薬局を対象に年次定点調査を実施しております。

つきましては、本年も引き続き専門医療機関連携薬局を対象にしたアンケート調査を実施することとなり、別添のとおり専門医療機関連携薬局へアンケート調査を依頼しました。本調査は、毎年定点で調査を実施することとなっており、国からも注目を集めるものとなっております。貴会からも所属される専門医療機関連携薬局に対して、アンケートへのご協力をお願いしたく存じます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

令和8年8月吉日

専門医療機関連携薬局

責任者 殿

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会

理事長 松井 礼子

総務委員会

委員長 高橋 郷

「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会(以下「JASPO」)への活動等にご理解、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さてご存じのとおり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の改正に伴い、令和3年8月より専門医療機関連携薬局の認定制度が施行されました。JASPOでは、本認定制度に対応すべく、外来がん治療専門薬剤師(BPACC)の認定制度を創設するとともに、主として薬局薬剤師を対象にがん診療病院連携研修(病院実地研修)を令和3年度より導入しています。令和7年4月末日時点において、薬局薬剤師のBPACC取得者は377名、がん診療病院連携研修の修了者は令和7年8月末までに582名を輩出しており、専門医療機関連携薬局の認定薬局拡大に向け、事業を推進して参りました。さらに令和4年度より、専門医療機関連携薬局を対象に年次定点調査を実施しております。

本年度においても引き続き専門医療機関連携薬局を対象にしたアンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。アンケートはGoogleフォームによるWeb回答方式で実施いたします。以下のURLまたはQRコードよりご回答ください。Googleフォームの回答画面冒頭に調査の説明文を掲載し、同意いただける場合に「同意する」にチェックを入れていただくことで同意を取得いたします。同意が得られない場合には回答は開始されません。また、情報管理の観点からご回答の際には、貴薬局の調査専用施設コードの入力をお願いいたします(同封の『Web調査入力用 事前記入用紙』に貴薬局調査専用施設コードを記載しております)。

Google フォーム調査 URL

↓↓↓

<https://forms.gle/ny8Z2EFG9uKfVxDx5>



なお、本調査票は、最後に送信ボタンを押さない限り、設問間の移動や、回答修正が出来るような入力フォームとなっております。できるだけ全ての設問にご回答の上、送信ボタンを押してください。

調査情報の機密性を確保するため、調査票内に薬局名や会社名など個々の薬局を特定できるような情報に関する設問はございません。調査専用施設コード(Aから始まる4桁のコード)を最初にご記入ください。学会事務局で集積した個々の情報に関しては、決して漏えい等がないよう厳重に責任をもって管理いたします。回答時間の目安は10分程度となります。

ご多忙中に恐縮ではございますが、令和8年9月15日(火)までにご回答をお願い申し上げます。本件に関しまして、ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

最後になりますが、JASPO としましては今後も定点調査につきましては、調査施設が特定されない形で発信させていただき、国民に広報して参る所存です。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

同封書類

- 「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力のお願い(本文) 1枚
- 専門医療機関連携薬局に関する実態調査(Web 調査入力用 事前記入用紙) 1枚

回答者

本調査は、保険薬局施設ごと(1店舗)の回答となります。

代表の方がご記入ください。

回答期限

令和8年9月15日(火)

【お問い合わせ先】日本臨床腫瘍薬学会
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株)毎日学術フォーラム内
TEL:03-6267-4550(代表)、E-mail: jaspo@mynavi.jp

以上

専門医療機関連携薬局に関する実態調査 2026 (Web 調査入力用 事前記入用紙)

ご回答は以下の URL または QR コードよりお願いいたします。

本調査は、保険薬局施設ごと（1店舗）の回答となります。代表の方がご記入ください。

貴施設の施設コード (**施設毎に通知**) ※A+3桁の数字



<https://forms.gle/ny8Z2EFG9uKfVxDx5>

I. 専門医療機関連携薬局の直近の届出実績に関する設問

●直近の届出時に使用した認定適合表を元にご回答ください。

(1)適合表4：がん治療に係る患者の情報を医療機関に報告及び連絡した実績

- 1 過去1年間のがん患者総数 () 人
- 2 「①」のうち、がん治療に係る医療機関に勤務する薬剤師等に報告及び連絡した患者数 () 人
- 3 報告または連絡した情報提供回数 () 回

(2)適合表7：休日及び夜間の調剤応需体制

- ① 過去1年間の調剤の実績 () 回

(3)適合表8：在庫するがんに係る医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供する体制

- ① 過去1年間のがんに係る医薬品提供の実績 () 回

(4)適合表9：麻薬の調剤応需体制

- ① 過去1年間の調剤の実績 () 回

(5)適合表10：医療安全対策

- 1 医薬品に係る副作用等の報告 過去1年間の報告回数 () 回
- 2 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への参加 過去1年間の報告回数 () 回

(6)適合表11：継続して1年以上常勤として勤務している薬剤師の体制・がんの専門性を有する常勤として勤務している薬剤師

- 1 常勤として勤務している薬剤師数 () 人
- 2 継続して1年以上勤務している常勤薬剤師数 () 人
- 3 がん薬物療法全般に係る専門性を有すると認定を受けた常勤薬剤師数 () 人

3. 専門医療機関連携薬局の周知の有無とその方法に関する設問

- | | | | | |
|--------|--------------------------------|--|---|--------------------------------|
| 1 医療機関 | ☐ していない | ☐ している→方法（具体的に： |) | ☐ 該当しない |
| 2 患者 | ☐ していない | ☐ している→方法（具体的に： |) | ☐ 該当しない |
| 3 地域住民 | ☐ していない | ☐ している→方法（具体的に： |) | ☐ 該当しない |

4. 主な連携先の医療機関との連携体制に関する設問（適合表 第3項第1号・第2号関連）

●実績期間は直近の届出時に使用した認定適合表の対象期間（直近1年間）としてご回答ください。

(1)主な連携先の医療機関との会議（症例検討会、多職種連携会議等）の参加頻度を選択してください。

- ☐ ① 月1回以上
☐ ② 2～3か月に1回程度
☐ ③ 半年に1回程度
☐ ④ 年1回程度
☐ ⑤ 不定期（必要に応じて）
☐ ⑥ その他（ ）

(2)上記会議の具体的な内容について教えてください。（複数回答可）

- ☐ ① 特定の患者の症例検討
☐ ② 治療レジメンの共有
☐ ③ 副作用発現状況の報告と対策
☐ ④ 地域連携パスの運用確認
☐ ⑤ その他（ ）

(3)疑義照会以外での、病院スタッフ（医師、薬剤師、看護師等）との具体的な連携方法を選択してください。

（複数回答可）

- ☐ ① トレーシングレポートによる情報提供
☐ ② 電話による随時の連絡・相談
☐ ③ ICTツール（電子薬歴連携、独自連携ツール、メッセージアプリ）の活用
☐ ④ 対面による面談
☐ ⑤ その他（ ）

5. がんにかかる専門的な内容の研修に関する設問（適合表 第4項第8号関連）

●実績期間は直近の届出時に使用した認定適合表の対象期間（直近1年間）としてご回答ください。

(1)在籍薬剤師が受講しているがんに係る専門的な内容の研修の主な形態を選択してください。（複数回答可）

- ☐ ① 外部団体（薬剤師会、学会等）主催のWEB研修
☐ ② 外部団体の集合研修
☐ ③ 連携病院での実務研修
☐ ④ 自局内での勉強会
☐ ⑤ 自社内での勉強会
☐ ⑥ eラーニング
☐ ⑦ その他（ ）

(2)がんに係る専門的な研修を受ける頻度は、薬局単位あたり年間でどのくらいか選択してください。

- ☐ ① 年10回以上
- ☐ ② 年5～9回
- ☐ ③ 年2～4回
- ☐ ④ 年1回

(3)受講した研修はどのような内容か教えてください。(複数回答可)

- ☐ ① がんの病態について
- ☐ ② 薬物療法
- ☐ ③ 服薬指導
- ☐ ④ 副作用モニタリング
- ☐ ⑤ その他 ()

(4)(3)で選択した、受講した研修のうち、活用できているものを選択してください。

- ☐ ① がんの病態について
- ☐ ② 薬物療法
- ☐ ③ 服薬指導
- ☐ ④ 副作用モニタリング
- ☐ ⑤ その他 ()
- ☐ ⑥ 活用できている内容はない

(5)(4)で選択したものについて、具体的にどのように活用しているか教えてください。(例：副作用 Grade 評価の統一、最新の支持療法への対応等) (自由記述)

6. 地域の薬局に対する専門的研修に関する設問 (適合表 第4項第9号関連)

●実績期間は直近の届出時に使用した認定適合表の対象期間(直近1年間)としてご回答ください。

(1)他の薬局から、がん治療に関する相談や協力依頼を受けた実績の有無と、実績ありの場合、何件程度ありますか？

- ☐ ① 実績なし⇒(3)へお進みください
- ☐ ② 1～5件
- ☐ ③ 6～10件
- ☐ ④ 11件以上

(2)(1)で①以外を選択した場合、相談の具体的な内容を選択してください。(複数回答可)

- ☐ ① 医薬品の在庫・譲渡に関する相談
- ☐ ② がん治療に関する相談(用法用量・副作用対応等)
- ☐ ③ 特殊な調剤方法(無菌調剤等含む)
- ☐ ④ 医療用麻薬の取り扱い
- ☐ ⑤ その他 ()

(3)他の薬局に対する「がんに係る研修」（外部主催の研修への講師登壇等を含みます）をどの程度の頻度で実施していますか？

- ☐ ① 年1回
- ☐ ② 年2回
- ☐ ③ 年3回以上
- ☐ ④ その他（ ）

(4)他の薬局に対する「がんに係る研修」はどのような内容か教えてください。（複数回答可）

- ☐ ① 症例検討会
- ☐ ② 新薬勉強会
- ☐ ③ 服薬指導
- ☐ ④ 副作用モニタリング
- ☐ ⑤ その他（ ）

(5)地域の薬局向けに専門的な研修を企画・実施（または外部の研修に講師として登壇）する上で、障壁（困難な点）となっていることはありますか？

- ☐ ① なし（特に障壁は感じていない）⇒(7)へお進みください
- ☐ ② あり

(6)(5)で「あり」を選択した場合、具体的な障壁となっている理由を教えてください。（複数回答可）

- ☐ ① 準備時間・運営時間（または登壇時間）の確保
- ☐ ② 講師を担当できる人員の不足
- ☐ ③ 参加者（集客）の確保
- ☐ ④ 研修会場の確保
- ☐ ⑤ 費用面（資料代、会場費等の負担）
- ☐ ⑥ その他（具体的に： ）

(7)地域の薬局向け研修を実施する際（自局で企画・主催するケースのほか、医療機関や薬剤師会、メーカー等が主催する研修へ講師として招聘されるケースを含みます）、その主な基盤（きっかけ・背景）となっているものは何ですか？（複数回答可）

- ☐ ① 専門医療機関連携薬局制度（認定取得・維持）を契機とした、自局の専門薬剤師等による独自企画
- ☐ ② 連携先医療機関からの依頼や共同企画
- ☐ ③ 地域薬剤師会等からの依頼（役職や地域の繋がりによるもの）
- ☐ ④ 自局（または自社）に元々根付いている地域連携・勉強会の文化・風土
- ☐ ⑤ メーカーからの依頼（共同企画含む）
- ☐ ⑥ その他（具体的に： ）

7. 地域の医療提供施設に対する情報提供に関する設問（適合表 第4項第10号関連）

●実績期間は直近の届出時に使用した認定適合表の対象期間（直近1年間）としてご回答ください。

(1)地域の医療提供施設に対し、医薬品の適正使用に関する情報提供（DI提供）を行う際、どのような単位で情報の作成・発行を行っていますか？（複数回答可）

- ☐ ① 薬局独自でDI作成・発行
- ☐ ② 自社内で作成されたものを活用
- ☐ ③ 他の専門医療機関連携薬局や医療機関と合同で作成
- ☐ ④ その他（ ）

(2) 具体的にどのような内容の情報を提供しましたか？（複数回答可）

- ☐ ① 新薬に関する情報
- ☐ ② 疾患や治療ガイドラインに関する情報
- ☐ ③ 抗がん薬（既存薬を含む）の有効性や安全性（副作用マネジメント、薬物相互作用等）に関する情報
- ☐ ④ レジメンや支持療法に関する情報
- ☐ ⑤ その他（ ）

(3) (2)の情報について、提供先の施設と提供方法を教えてください。（複数回答可）

①【提供先】

- ☐ ① 主な連携先の医療機関
- ☐ ② 主な連携先以外の医療機関（地域のクリニック等）
- ☐ ③ 地域の薬局
- ☐ ④ その他（ ）

②【提供方法】

- ☐ ① 施設訪問など、対面での直接配布・面談
- ☐ ② メールでの送信
- ☐ ③ FAXでの送信
- ☐ ④ 郵送での送付
- ☐ ⑤ 地域勉強会やカンファレンス等での配布・情報共有
- ☐ ⑥ その他（ ）

(4) 情報提供の実績は何件程度ありますか？

（ ）件程度

8. 専門医療機関連携薬局の認定制度への要望に関する設問

専門医療機関連携薬局制度の運用・認定基準に関して、これまでの実務経験から改善が望ましいと感じる点やご意見があれば、ご自由にご記入ください。（自由記述）

9. 専門医療機関連携薬局の今後の更新および普及に関する設問

貴薬局の実務や制度運用の状況を的確に把握している方（薬局長、管理薬剤師、がん治療に関する有資格者など）とご相談のうえ、貴薬局としての見解をもとにご回答ください。

(1) 貴薬局の今後の専門医療機関連携薬局としての認定継続に関する考えをお答えください。

- ☐ ① 全く継続する方針はない
- ☐ ② あまり継続する方針はない
- ☐ ③ 継続する方針がある
- ☐ ④ 強く継続する方針がある

(2)(1)で選択したものについて、その理由をご自由にご記入ください。(自由記述)

10. 施設属性

(1)企業規模

- ☐ 従業員数 50 名未満 ☐ 従業員数 50 名以上

(2)店舗数

- ☐ 1 ☐ 2-5 ☐ 6-10 ☐ 10-20 ☐ 21-50 ☐ 51-100 ☐ 100 以上

(3)薬局の立地

- ☐ がん診療連携拠点病院の門前
☐ がん診療連携拠点病院以外の病院の門前
☐ 地域・郊外型
☐ マンツーマン型（クリニック門前など）
☐ ゾーン型1（医療モール・医療ビレッジ等）
☐ ゾーン型2（地域広域応需）
☐ 病院敷地内薬局
☐ その他（具体的に：_____）

(4)主にがん患者の処方箋を応需する医療機関（複数回答可）

- ☐ がん診療連携拠点病院 ☐ 特定機能病院 ☐ 地域医療支援病院 ☐ その他病院
☐ 診療所、クリニック ☐ その他（具体的に：_____）

(5)がん関連専門薬剤師の人数 常勤者の人数（回答時点）

- ① 地域薬学ケア専門薬剤師（がん） （ ）人
② 外来がん治療専門薬剤師 （ ）人

(6)本アンケートに回答されている方の情報

- ☐ 薬局長
☐ 管理薬剤師
☐ がん治療に関する有資格者
☐ その他（具体的に：_____）

学会事務局で集積した個々の情報に関しては、決して漏えい等がないよう厳重に責任をもって管理いたします。
本調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

